

国語 **科目** **論理国語**

單位數： 2 單位

使用教科書：（大修館書店「論理国語」）

の目標：

生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

の目標：

[illegible]

高等学校 令和6年度（3学年用）教科		国語	科目	現代文演習
教科：	国語	科目：	現代文演習	単位数： 3 単位
対象学年組：第	3 学年	A 組～	F 組	
教科担当者：	(A組：雨海)	(B組：金井)	(C組：雨海)	(D組：金井) (EF組：雨海)
使用教科書：	(数研出版「名作を味わう 定番小説選」他)			
教科	国語	の目標：		
【知 識 及 び 技 能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。			
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。			
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。			

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

[illegible]

高等学校 令和6年度（3学年用）教科			国語	科目	古典探究
教科：	国語	科目：	古典探究	単位数：	4 単位
対象学年組：	第 3 学年 A 組～ E 組				
教科担当者：	（A組：金井）	（B組：森脇）	（C組：金井）	（DE組：森脇）	
使用教科書：	（ 数研出版「高等学校 古典探究」 ）				
教科	国語	の目標：			
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。				
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。				
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。				
科目	古典探究	の目標：			

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書 読					
1 学 期	古文 随筆／枕草子「二月つごもりごろに」 説話／古本説話集「清少納言がこと」 随筆／枕草子「宮に初めて参りたるころ」 ○問題演習 よむナビ古典 古文編 1～5	・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人1台端末を活用する。 ・本文中に現れる既習の文法事項を総復習するとともに、読解を通して古典の世界に親しむ。 ・演習を通して実戦的な読解の方法を学習する。			○	【知識・技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 【主体的態度】 ・学習課題に沿って自分なりに答えを導きだそうとしている。 ・小テスト等に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	14
	漢文 逸話「知音」「梁上君子」 ○問題演習 よむナビ古典 漢文編 1～4	・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人1台端末を活用する。 ・本文中に現れる既習の文法事項を総復習するとともに、読解を通して古典の世界に親しむ。 ・演習を通して実戦的な読解の方法を学習する。			○	【知識・技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 【主体的態度】 ・学習課題に沿って自分なりに答えを導きだそうとしている。 ・小テスト等に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	古文 日記文学／蜻蛉日記「うつろひたる菊」 日記文学／紫式部日記「土御門邸の秋」 「同僚女房評」 ○問題演習 よむナビ古典 古文編 7～10	・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人1台端末を活用する。 ・本文中に現れる既習の文法事項を総復習するとともに、読解を通して古典の世界に親しむ。 ・演習を通して実戦的な読解の方法を学習する。			○	【知識・技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 【主体的態度】 ・学習課題に沿って自分なりに答えを導きだそうとしている。 ・小テスト等に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	20
	漢文 小説「亮鬼」 ○問題演習 よむナビ古典 漢文編 5～8	・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人1台端末を活用する。 ・本文中に現れる既習の文法事項を総復習するとともに、読解を通して古典の世界に親しむ。 ・演習を通して実戦的な読解の方法を学習する。			○ ○	【知識・技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 【主体的態度】 ・学習課題に沿って自分なりに答えを導きだそうとしている。 ・小テスト等に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	
	定期考査						○	○		1

[illegible]

单位数： 2 单位 2

使用教科書：（「古典文法 解釈へのベストトレーニング 助動詞の力」（尚文出版）等）

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

の目標：

[illegible]

高等学校 令和6年度（3学年用）教科		地理歴史	科目	世界史探究
教科：	地理歴史	科目：	世界史探究	単位数：5 単位
対象学年組：第	3 学年	C 組～	F 組	
教科担当者：	(C組：小山)	(D組：小山)	(E組：小山)	(F組：小山)
使用教科書：	(詳説世界史 (山川出版社))			
教科	地理歴史	の目標：		
【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史的展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。			
【知識及び技能】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、構想、考察したことを効果的に説明したりそれらを基に議論したりする力を養う。			
【知識及び技能】	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			

科目 世界史探究		の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○アラブの大征服とイスラーム政権の成立 ○ヨーロッパ世界の形成	①アラブ＝ムスリム軍による大征服の展開を理解する。 ②ビザンツ帝国の繁栄について、同時期の西ヨーロッパと比較したうえで理解する。 ③ローマ教会とフランク王国の関係を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】イスラーム教がどのように成立し、短時間で勢力を拡大していったのかを理解している。 【思考・判断・表現】イスラーム政権の拡大を示す地図やアラベスクなどの図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】イスラーム教の成立と拡大について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見い出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	○イスラーム教の伝播と西アジアの動向 ○ヨーロッパ世界の変容と展開	①トルコ人の進出が西アジアにもたらした変化について考察し表現している。 ②十字軍の遠征の経緯を理解し、それが社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】中世の西ヨーロッパで発達した商業の活動状況とその特徴について、従来との比較をふまえて理解している。 【思考・判断・表現】中世都市の景観を示す図像資料や当時の交通路を示す地図をもとに、十字軍が西ヨーロッパに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】中世の西ヨーロッパについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	定期考查			○	○		1
	○東アジア世界の展開とモンゴル帝国 ○アジアの諸帝国の繁栄	①モンゴル帝国による支配が東アジアにおよぼした影響について理解する。 ②オスマン帝国の勢力拡大の経緯を理解する。 ③清朝の領土に組み込まれた民族と、彼らがどのように統治されていたかを理解する。	【知識・技能】清朝の基礎が築かれた経緯や清代の政治と社会の特徴および周辺諸国との関係について理解している。 【思考・判断・表現】皇帝を描いた図像資料や『康熙帝伝』などの資料をもとに、清代の皇帝と従来の中国王朝の皇帝との違いを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】清代の中国と隣接諸地域について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	○近世ヨーロッパ世界の動向	①それまでの教会改革の試みと16世紀の宗教改革の違いを多面的・多角的に考察し表現する。 ②主権国家体制の成立の経緯を多面的・多角的に考察し表現する。 ③イギリスとフランスの覇権争いがグローバルな戦いになった背景を理解する。	【知識・技能】主権国家および主権国家体制の成立について、それまでのヨーロッパの状況と比較したうえで理解している。 【思考・判断・表現】ウェストファリア条約の内容や当時の戦争の様子を示す図像資料をもとに、主権国家体制の成立と戦争の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】主権国家体制の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	定期考查			○	○		1

2 学 期	○産業革命と環大西洋革命	①イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ②アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ③革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響を理解する。	【知識・技能】フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景を理解している。 【思考・判断・表現】「旧体制」の風刺画などの図像資料や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】フランス革命とナポレオンについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	○イギリスの優位と欧米国民国家の形成	①ウィーン体制を動揺させた要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ②ドイツとイタリアの国民国家成立を比較し、共通点と相違点を理解する。 ③南北戦争において北部が勝利した要因を理解する。	【知識・技能】19世紀後半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、時代的な背景や各国の共通点・相違点もふまえて理解している。 【思考・判断・表現】鉄道距離の推移を示す統計やイタリアとドイツの統一を示す地図などをもとに、19世紀後半にヨーロッパの再編成が進んだ背景を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】19世紀後半のヨーロッパの再編成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	13
3 学 期	○帝国主義とアジアの民族運動	①列強の植民地化によるアフリカの社会や文化の変容を多面的・多角的に考察し表現する。 ②列強による太平洋地域の植民地化の経緯を理解する。 ③日清戦争と日露戦争が中国および東アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解している。 【思考・判断・表現】列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】列強の世界分割について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	○二つの世界大戦と新しい国際秩序の形成	①歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因を多面的・多角的に考察し表現する。 ②世界恐慌が起こった背景やその影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ③ナチス＝ドイツの体制が成立する経緯とその政策内容を理解する。	【知識・技能】第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯を理解する。 【思考・判断・表現】戦場を写した図像資料や「大西洋憲章」などの資料をもとに、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】第二次世界大戦について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	13
							合計
							102

高等学校 令和6年度（3学年用）教科			地歴科	科目	世界史演習
教科：	地理歴史	科目：	世界史演習	単位数：	2 単位
対象学年組：	第 3 学年 C 組～ E 組				
教科担当者：	C組～E組：石井				
使用教科書：	（ 詳説世界史 探究 ）				
教科	地歴科	の目標：			
【知識及び技能】	基礎的・基本的な「知識及び技能」の確実な習得				
【思考力、判断力、表現力等】	「社会的な見方・考え方」を働かせた「思考力、判断力、表現力等」の育成				
【学びに向かう力、人間性等】	主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決使用とする態度の育成				
科目	世界史演習	の目標：			

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界史の中の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的な条件や世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉えると共に、諸資料から世界にの歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	世界史の中の大きな枠組みと展開に関わる諸事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界のつながりなどに着目して、概念などに活用して多面的・多角的に考察して歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界史の中の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される国民としての自覚、国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 世界各地の古代文明を比較し、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界各地の古代文明の相違点を考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 世界各地の古代文明の関連性について分析しようとしている。	・指導事項 第1 章文明の成立と古代文明の特質 ・教材 「世 界史探究 詳説世界史」 ・副教材 「世界史探究問題集」	【知識・技能】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを理解している。 【思考・判断・表現】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 それぞれの事柄の関連性などを分析、追究使用としている。	○	○	○	2
	B 単元 【知識及び技能】 草原とオアシス世界との関係と中国との関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 草原とオアシス世界との関係と中国との関係を考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 草原とオアシス世界との関係と中国との関係をを追究しようとしている。	・指導事項 第2 章中央ユーラシアと東アジア世界 ・教材 「世界史探究 詳説世界史」 ・副教材 「世界史探究問題集」	【知識・技能】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを理解している。 【思考・判断・表現】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 それぞれの事柄の関連性などを分析、追究使用としている。	○	○	○	3
	定期考査						
	C 単元 【知識及び技能】 南アジア世界と東南アジア世界の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 南アジア世界と東南アジア世界の関係を考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 南アジア世界と東南アジア世界の関係を分析、探究しようとしている。	・指導事項 第3 章南アジア世界と東南アジア世界の展開 ・教材 「世界史探究 詳説世界史」 ・副教材 「世界史探究問題集」	【知識・技能】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを理解している。 【思考・判断・表現】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 それぞれの事柄の関連性などを分析、追究使用としている。	○	○	○	5
	D 単元 【知識及び技能】 西アジアと地中海周辺国家形成について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 西アジアと地中海周辺国家形成について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 西アジアと地中海周辺国家形成について分析、探究しようとしている。	・指導事項 第4 章西アジアと地中海周辺国家形成 ・教材 「世界史探究 詳説世界史」 ・副教材 「世界史探究問題集」	【知識・技能】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを理解している。 【思考・判断・表現】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 それぞれの事柄の関連性などを分析、追究使用としている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	A 単元 【知識及び技能】 イスラム教の成立とヨーロッパ世界との関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 イスラム教の成立とヨーロッパ世界との関係を考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 イスラム教の成立とヨーロッパ世界との関係を分析しようとしている。	・指導事項 第5 章イスラム教の成立とヨーロッパ世界の形成 ・教材 「世 ・界史探究 詳説世界史」 副教材 「世界史探究問題集」	【知識・技能】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを理解している。 【思考・判断・表現】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 それぞれの事柄の関連性などを分析、追究使用としている。	○	○	○	4
	B 単元 【知識及び技能】 イスラム教徒の伝播と西アジアの動向について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 イスラム教徒の伝播と西アジアの動向について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 イスラム教徒の伝播と西アジアの動向について分析、追究しようとしている。	・指導事項 第6 章イスラム教の伝播と西アジアの動向 ・教材 「世 ・界史探究 詳説世界史」 材 「世界史探究問題集」	【知識・技能】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを理解している。 【思考・判断・表現】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 それぞれの事柄の関連性などを分析、追究使用としている。	○	○	○	3
	C 単元 【知識及び技能】 アジア貿易圏とヨーロッパの海洋進出について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア貿易圏とヨーロッパの海洋進出について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 アジア貿易圏とヨーロッパの海洋進出について分析、追究しようとしている。	・指導事項 第9 章大交易・大交流の時代 ・教材 「世 ・界史探究 詳説世界史」 材 「世界史探究問題集」	【知識・技能】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを理解している。 【思考・判断・表現】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 それぞれの事柄の関連性などを分析、追究使用としている。	○	○	○	3
	D 単元 【知識及び技能】 アジアの諸帝国の繁栄について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 アジアの諸帝国の繁栄について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 アジアの諸帝国の繁栄について分析、探究しようとしている。	・指導事項 第10 章アジアの諸帝国の繁栄 ・教材 「世 ・界史探究 詳説世界史」 材 「世界史探究問題集」	【知識・技能】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを理解している。 【思考・判断・表現】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 それぞれの事柄の関連性などを分析、追究使用としている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
3 学 期	A 単元 【知識及び技能】 産業革命と環大西洋革命について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 産業革命と環大西洋革命について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 産業革命と環大西洋革命について分析、探究しようとしている。	・指導事項 第12 章産業革命と環大西洋革命 ・教材 「世 ・界史探究 詳説世界史」 材 「世界史探究問題集」	【知識・技能】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを理解している。 【思考・判断・表現】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 それぞれの事柄の関連性などを分析、追究使用としている。	○	○	○	3
	B 単元 【知識及び技能】 アジア諸地域の動揺を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア諸地域の動揺を考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 アジア諸地域の動揺を追究しようとしている。	・指導事項 第14 章アジア諸地域の動揺 ・教材 「世 ・界史探究 詳説世界史」 材 「世界史探究問題集」	【知識・技能】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを理解している。 【思考・判断・表現】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 それぞれの事柄の関連性などを分析、追究使用としている。	○	○	○	4
	B 単元 【知識及び技能】 帝国主義とアジアの民族運動を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義とアジアの民族運動を考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 帝国主義とアジアの民族運動を追究しようとしている。	・指導事項 第15 章帝国主義とアジアの民族運動 ・教材 「世 ・界史探究 詳説世界史」 材 「世界史探究問題集」	【知識・技能】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを理解している。 【思考・判断・表現】 歴史に関連する人名、地名、事件、制度、宗教、戦争、国家などを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 それぞれの事柄の関連性などを分析、追究使用としている。	○	○	○	5

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

地理歴史科

科目 日本史探究

単位数： 5 単位

教科： 地理歴史科 科目： 日本史探究

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ D 組

教科担当者： A組～D組：室井

使用教科書： （ 詳説 日本史 日本史探究 山川出版社 ）

教科 地歴科 の目標：

【知識及び技能】

日本史の諸事象について総合的にとらえて理解する

【思考力、判断力、表現力等】

日本史の諸事象の意味や意義を多角的に考察し、効果的に説明できる力を養う

【学びに向かう力、人間性等】

日本史の諸事象を主体的に探究しようとする態度を養う

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本史の諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に理解するとともに、資料から様々な情報を適切に調べまとめる技能を身につけさせる。	日本史の諸事象の意味や意義を多角的・多面的に考察したり、考察したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	日本史の諸事象について、主体的に探究しようとする態度を養うとともに、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	占領下の日本 【知識及び技能】 日本の主権回復の意義を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題を追究しようとする	・指導事項 「冷戦の開始と講和」 ・教材 詳説 日本史 日本史探究 ・副教材 最新 日本史図表	【知識・技能】 占領政策の転換や日本の主権回復について理解している 【思考・判断・表現】 上記の内容を多角的に考察し表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントを完成させ提出し、授業に関する発言や発問に的確に答えられる	○	○	○	12
	高度成長の時代・激動する世界と日本 【知識及び技能】 安定した保守政権と経済成長、現代の日本について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題を追究しようとする	・指導事項 「55年体制」「高度経済成長」「冷戦の終結と日本社会の変容」 ・教材 詳説 日本史 日本史探究 ・副教材 最新 日本史図表	【知識・技能】 自由民主党の誕生と経済・外交、現代の日本について理解している 【思考・判断・表現】 上記の内容を多角的に考察し表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントを完成させ提出し、授業に関する発言や発問に的確に答えられる	○	○	○	15
	定期考査						1
	日本文化のあけぼの・古墳とヤマト政権 【知識及び技能】 原始・古代の日本社会を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題を追究しようとする	・指導事項 「旧石器時代」「縄文時代」「弥生時代」「古墳時代」 ・教材 詳説 日本史 日本史探究 ・副教材 最新 日本史図表	【知識・技能】 原始・古代の日本社会について理解している 【思考・判断・表現】 上記の内容を多角的に考察し表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントを完成させ提出し、授業に関する発言や発問に的確に答えられる	○	○	○	16
	古墳とヤマト政権・律令国家の形成 【知識及び技能】 飛鳥時代・奈良時代の日本について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題を追究しようとする	・指導事項 「飛鳥時代」「奈良時代」 ・教材 詳説 日本史 日本史探究 ・副教材 最新 日本史図表	【知識・技能】 飛鳥時代・奈良時代の政治・社会・文化について理解している 【思考・判断・表現】 上記の内容を多角的に考察し表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントを完成させ提出し、授業に関する発言や発問に的確に答えられる	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	貴族政治の展開 【知識及び技能】 藤原北家の権力掌握と律令体制の変容を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題を追究しようとする	・指導事項 「摂関政治」「国風文化」 「地方政治と武士」 ・教材 詳説 日本史 日本史探究 ・副教材 最新 日本史図表	【知識・技能】 摂関政治と律令体制の変容、武士の出現について理解している 【思考・判断・表現】 上記の内容を多角的に考察し表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントを完成させ提出し、授業に関する発言や発問に的確に答えられる	○	○	○	15
	院政と武士の躍進 【知識及び技能】 古代から中世の国家・社会の変容を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題を追究しようとする	・指導事項 「院政と平氏政権」「鎌倉時代」「鎌倉文化」 ・教材 詳説 日本史 日本史探究 ・副教材 最新 日本史図表	【知識・技能】 院政・平氏政権・鎌倉幕府について理解している 【思考・判断・表現】 上記の内容を多角的に考察し表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントを完成させ提出し、授業に関する発言や発問に的確に答えられる	○	○	○	18
	定期考査						1
	武家社会の成長 【知識及び技能】 武家社会の成長と室町時代の社会・文化を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題を追究しようとする	・指導事項 「室町時代」「室町文化」 「戦国時代」 ・教材 詳説 日本史 日本史探究 ・副教材 最新 日本史図表	【知識・技能】 室町幕府の成立・成長、室町文化、戦国大名について理解している 【思考・判断・表現】 上記の内容を多角的に考察し表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントを完成させ提出し、授業に関する発言や発問に的確に答えられる	○	○	○	17
	近世の幕開け・幕藩体制の成立と展開 【知識及び技能】 織豊政権と江戸幕府の支配体制を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題を追究しようとする	・指導事項 「織豊政権」「幕藩体制の成立」 ・教材 詳説 日本史 日本史探究 ・副教材 最新 日本史図表	【知識・技能】 織豊政権の特色と江戸幕府の支配体制について理解している 【思考・判断・表現】 上記の内容を多角的に考察し表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントを完成させ提出し、授業に関する発言や発問に的確に答えられる	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	幕藩体制の動揺 【知識及び技能】 幕政の改革と化政文化を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題を追究しようとする	・指導事項 「幕政の改革」「幕府の衰退と近代への道」「化政文化」 ・教材 詳説 日本史 日本史探究 ・副教材 最新 日本史図表	【知識・技能】 幕政の改革・幕府の衰退、化政文化について理解している 【思考・判断・表現】 上記の内容を多角的に考察し表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントを完成させ提出し、授業に関する発言や発問に的確に答えられる	○	○	○	15
	近世から近代へ 【知識及び技能】 幕末から明治維新の政治と貿易・産業を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題を追究しようとする	・指導事項 「開国と幕末の動乱」「幕府の滅亡と新政府の発足」「貿易・産業」 ・教材 詳説 日本史 日本史探究 ・副教材 最新 日本史図表	【知識・技能】 幕末・明治維新期の政治と貿易・産業について理解している 【思考・判断・表現】 上記の内容を多角的に考察し表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントを完成させ提出し、授業に関する発言や発問に的確に答えられる	○	○	○	15
	近代国家の展開・恐慌と第二次世界大戦 【知識及び技能】 日清・日露戦争から軍部の台頭と第二次世界大戦を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題を追究しようとする	・指導事項 「日清・日露戦争と国際関係」「第一次世界大戦と日本」「軍部の台頭と第二次世界大戦」 ・教材 詳説 日本史 日本史探究 ・副教材 最新 日本史図表	【知識・技能】 日清・日露戦争から軍部の台頭と第二次世界大戦について理解している 【思考・判断・表現】 上記の内容を多角的に考察し表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントを完成させ提出し、授業に関する発言や発問に的確に答えられる	○	○	○	15

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	日本文化のあけぼの 【知識及び技能】原始・古代の日本社会を理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】主体的に課題を探究しようとする	・指導事項：「旧石器時代」「縄文時代」「弥生時代」 ・教材：詳説日本史日本史探究 ・副教材：日本史総合テスト	【知識・技能】日本史の諸事象を理解している 【思考・判断・表現】日本史の諸事象を考察している 【主体的に学習に取り組む態度】問題演習に主体的に取り組んでいる	○	○	○	8
	古墳とヤマト政権・律令国家 【知識及び技能】飛鳥・奈良時代の日本社会を理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】主体的に課題を探究しようとする	・指導事項：「飛鳥時代」「奈良時代」 ・教材：詳説日本史日本史探究 ・副教材：日本史総合テスト	【知識・技能】日本史の諸事象を理解している 【思考・判断・表現】日本史の諸事象を考察している 【主体的に学習に取り組む態度】問題演習に主体的に取り組んでいる	○	○	○	10
	貴族政治・院政と武士 【知識及び技能】平安時代の日本社会を理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】主体的に課題を探究しようとする	・指導事項：「平安時代」「院政」 ・教材：詳説日本史日本史探究 ・副教材：日本史総合テスト	【知識・技能】日本史の諸事象を理解している 【思考・判断・表現】日本史の諸事象を考察している 【主体的に学習に取り組む態度】問題演習に主体的に取り組んでいる	○	○	○	10
	定期考査						1
2 学 期	武家政権の成立・成長 【知識及び技能】鎌倉時代・室町時代の日本社会を理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】主体的に課題を探究しようとする	・指導事項：「鎌倉時代」「室町時代」 ・教材：詳説日本史日本史探究 ・副教材：日本史総合テスト	【知識・技能】日本史の諸事象を理解している 【思考・判断・表現】日本史の諸事象を考察している 【主体的に学習に取り組む態度】問題演習に主体的に取り組んでいる	○	○	○	10
	幕藩体制の成立と展開・動揺 【知識及び技能】江戸時代の日本社会を理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】主体的に課題を探究しようとする	・指導事項：「江戸時代」 ・教材：詳説日本史日本史探究 ・副教材：日本史総合テスト	【知識・技能】日本史の諸事象を理解している 【思考・判断・表現】日本史の諸事象を考察している 【主体的に学習に取り組む態度】問題演習に主体的に取り組んでいる				10
	近代国家の成立・展開 【知識及び技能】幕末から明治の日本社会を理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】主体的に課題を探究しようとする	・指導事項：「近代国家の成立」「近代国家の展開」 ・教材：詳説日本史日本史探究 ・副教材：日本史総合テスト	【知識・技能】日本史の諸事象を理解している 【思考・判断・表現】日本史の諸事象を考察している 【主体的に学習に取り組む態度】問題演習に主体的に取り組んでいる				10
	定期考査						1
3 学 期	昭和史 【知識及び技能】戦前・戦後、現代の日本社会を理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記の内容を多角的に考察し、明確に表現する 【学びに向かう力、人間性等】主体的に課題を探究しようとする	・指導事項：「軍部の台頭と第二次世界大戦」「占領と改革」「高度経済成長」「現代日本の課題」 ・教材：詳説日本史日本史探究 ・副教材：日本史総合テスト	【知識・技能】日本史の諸事象を理解している 【思考・判断・表現】日本史の諸事象を考察している 【主体的に学習に取り組む態度】問題演習に主体的に取り組んでいる				10
							合計
							70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

公民

科目

政治・経済

教科： 公民

科目： 政治・経済

単位数： 5 単位

対象学年組： 第 3 学年

教科担当者： 後藤大騎

使用教科書： 政治・経済(数研出版)

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目	政治・経済	の目標：
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。
		【学びに向かう力、人間性等】
		よりよい社会の実現のために現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 民主政治とその基本原理と展開 【知識及び技能】 ・民主政治とその基本原理、また成立の歴史的背景について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・民主政治の基本原理とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・民主政治とその基本原理について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究する。	・政治の目的を明らかにし、民主政治の歴史的な展開やその背景の学習を通して民主主義の表現に必要な要素を考察する。	【知識・技能】 ・民主政治とその基本原理、また成立の歴史的背景について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・民主政治の基本原理とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・民主政治とその基本原理について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	○	○	○	9
	B 日本国憲法と基本的人権 【知識及び技能】 ・日本国憲法の内容と憲法が保障する人権の種類と運用について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・日本国憲法の人権保障とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本国憲法の人権保障とその課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究する。	・日本国憲法の条文から、日本国憲法の理念と、憲法が保障する人権の具体的内容を理解し、判例などを通して解釈や具体的な運用について考察する。	【知識・技能】 ・日本国憲法の内容と憲法が保障する人権の種類と運用について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・日本国憲法の人権保障とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本国憲法の人権保障とその課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	○	○	○	11
	定期考查			○	○		1
	C 日本の政治機構 【知識及び技能】 ・国会、内閣、裁判所の役割について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・国会、内閣、裁判所の役割とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国会、内閣、裁判所の役割とその課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究する。	・国会、内閣、裁判所の役割と具体的な運用について、憲法の条文と現実の運用を比較しながら、その実態や課題について考察する。 ・地方自治の意義と役割について考察する。	【知識・技能】 ・国会、内閣、裁判所の役割について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・国会、内閣、裁判所の役割とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国会、内閣、裁判所の役割とその課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	○	○	○	12
	D 政治参加と民主政治の課題 【知識及び技能】 ・政党や選挙制度のしくみや役割について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・政党や選挙制度の役割とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・政党や選挙制度の役割とその課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究する。	・政党政治、選挙制度、世論形成といった民主政治の実態とその課題について考察する。	【知識・技能】 ・政党や選挙制度のしくみや役割について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・政党や選挙制度の役割とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・政党や選挙制度の役割とその課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	○	○	○	10
	定期考查			○	○		1

2 学 期	E 経済活動の意義と経済体制 【知識及び技能】 ・経済体制の発展とその歴史的背景及び課題について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・経済体制の発展とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・経済体制の発展とその課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究する。	・経済とは何かを理解し、経済体制の発展やその背景、課題について考察する。	【知識・技能】 ・経済体制の発展とその歴史的背景及び課題について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・経済体制の発展とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・経済体制の発展とその課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	○	○	○	5
	F 現代経済のしくみ 【知識及び技能】 ・市場経済のしくみと実態、課題について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・市場経済のしくみと実態、課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・市場経済のしくみと実態、課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究する。	・市場経済、経済成長、財政、金融のしくみを理解し、その意義や課題について考察する。	【知識・技能】 ・市場経済のしくみと実態、課題について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・市場経済のしくみと実態、課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・市場経済のしくみと実態、課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	○	○	○	9
	G 日本経済と福祉の向上 【知識及び技能】 ・国会、内閣、裁判所の役割について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・国会、内閣、裁判所の役割とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国会、内閣、裁判所の役割とその課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究する。	・国会、内閣、裁判所の役割と具体的運用について、憲法の条文と現実の運用を比較しながら、その実態や課題について考察する。 ・地方自治の意義と役割について考察する。	【知識・技能】 ・国会、内閣、裁判所の役割について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・国会、内閣、裁判所の役割とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国会、内閣、裁判所の役割とその課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	H 国際政治の動向 【知識及び技能】 ・国際法と国際政治の意義と役割、その課題について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・国際法と国際政治の意義と役割、その課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国際法と国際政治の意義と役割、その課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究する。	・国際法の意義と発展について理解し、現在の国際社会の実態とその課題について考察する。	【知識・技能】 ・国際法と国際政治の意義と役割、その課題について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・国際法と国際政治の意義と役割、その課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際法と国際政治の意義と役割、その課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	○	○	○	7
	I 国際経済の動向 【知識及び技能】 ・国際経済のしくみとその課題について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・国際経済のしくみとその課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国際経済のしくみとその課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究する。	・国際貿易の意義や国際収支のしくみを理解し、国際経済の実態やその課題について考察する。	【知識・技能】 ・国際経済のしくみとその課題について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・国際経済のしくみとその課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際経済のしくみとその課題について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	○	○	○	7
	J 国際社会の課題と日本の役割 【知識及び技能】 ・国際社会の課題と日本の役割について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・国際社会の課題と日本の役割について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国際社会の課題と日本の役割について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究する。	・軍縮や地域紛争、経済協力などの国際社会の実態とその課題について理解し、日本の果たすべき役割について考察する。	【知識・技能】 ・国際社会の課題と日本の役割について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・国際社会の課題と日本の役割について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際社会の課題と日本の役割について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

数学

科目

数学Ⅰ 演習

教科： 数学

科目： 数学Ⅰ 演習

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 理系選択必修

教科担当者： 柴宮 一則

使用教科書： （ 【大学入試最頻出39】 ベイシックススタイル数学演習Ⅰ・A（数研出版）, リンク数学演習Ⅰ・A（数研出版） ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】

数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【知識及び技能】

数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【知識及び技能】

数学のよさを認識し説教的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅰ 演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
1学年で学習した高校数学の基本となる数学Ⅰの内容（数と式、2次関数、図形と軽量、データの分析）について復習し理解を深める。基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養う。また、それらを活用する技能を身に着ける。	事象を数学的に表現し考察する力、着想を変えて取り組める姿勢を身に着ける。問題の趣旨を理解し、基本的な知識を応用してどのような過程で問題解決に向けて取り組むかを考察させる。また、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え、様々な入試問題について、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 ・展開・因数分解、平方根、絶対値、条件と命題、2次関数と最大最小の分野の様々な問題について、基本的事項（公式等）を理解し正しく活用ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・様々な数学入試問題の意図を正しく読み取り、解答への過程を考察する。また、他の分野の概念を用いて着想を変えて別の過程を模索する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を数学一般の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・指導内容 展開・因数分解、平方根、絶対値、条件と命題、2次関数および最大最小の分野について、一般的数学入試問題の解決方法について理解する。まず基本的な問題についてすでに習った解決方法を理解し、それら公式をうまく利用し、解答が導き出される過程を理解した上で求められるようにする。また、これらの知識を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知識・技能】 ・整式の展開・因数分解、平方根、絶対値の入試レベルの問題が解ける。 ・条件と命題、2次関数と最大最小の入試レベルの問題が解ける。 【思考・判断・表現】 ・様々な入試問題を自ら取り組み、解決方法を考察し正しい解答導きだすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な入試問題、共通テストの問題を考察しようとする。	○	○	○	10
	中間考查			○	○		1
	【知識及び技能】 ・2次関数と2次方程式・不等式、三角比の基本分野の様々な問題について、基本的事項（公式等）を理解し正しく活用ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・様々な数学入試問題の意図を正しく読み取り、解答への過程を考察する。また、他の分野の概念を用いて着想を変えて別の過程を模索する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を数学一般の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・指導内容 2次関数と2次方程式・不等式、三角比の基本分野について、一般的数学入試問題の解決方法について理解する。まず基本的な問題についてすでに習った解決方法を理解し、それら公式をうまく利用し、解答が導き出される過程を理解した上で求められるようにする。特に図形への応用は他の分野の知識が必要になるので注意を促す。また、これらの知識を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知識・技能】 ・2次関数とグラフの関係を理解し、入試レベルの問題に応用できる。また、様々な2次方程式・不等式を解け、応用ができる。 ・三角比の基本事項を正しく理解し、入試レベルの問題が解ける。 【思考・判断・表現】 ・様々な入試問題を自ら取り組み、解決方法を考察し正しい解答導きだすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な入試問題、共通テストの問題を考察しようとする。	○	○	○	12
	期末考查			○	○		1

2 学 期	【知識及び技能】 ・三角比の正弦定理・余弦定理および図形への応用の様々な問題について、基本的事項（公式等）を理解し正しく活用ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・様々な数学入試問題の意図を正しく読み取り、解答への過程を考察する。また、他の分野の概念を用いて着想を変えて別の過程を模索する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を数学一般の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・指導内容 三角比について、一般的数学入試問題の解決方法について理解する。まず基本的な問題についてすでに習った解決方法を理解し、それら公式をうまく利用し、解答が導き出される過程を理解した上で求められるようにする。また、これらの知識を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知識・技能】 ・三角比の正弦定理・余弦定理を正しく理解し、入試レベルの問題に応用できる。また、様々な三角比の問題を解け、応用ができる。 ・三角比の図形への応用ができ、入試レベルの問題が解ける。 【思考・判断・表現】 ・様々な入試問題を自ら取り組み、解決方法を考察し正しい解答導きだすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な入試問題、共通テストの問題を考察しようとする。	○	○	○	14
	中間考査			○	○		1
	【知識及び技能】 ・データの分析の様々な問題について、基本的事項（公式等）を理解し正しく活用ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・様々な数学入試問題の意図を正しく読み取り、解答への過程を考察する。また、他の分野の概念を用いて着想を変えて別の過程を模索する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を数学一般の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・指導内容 データの分析について、一般的数学入試問題の解決方法について理解する。まず基本的な問題についてすでに習った解決方法を理解し、それら公式をうまく利用し、解答が導き出される過程を理解した上で求められるようにする。また、これらの知識を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知識・技能】 ・データの分析に関する基本事項を理解し、問題に適切に対応できる。 ・データの分析の入試レベルの問題が解ける。 【思考・判断・表現】 ・様々な入試問題を自ら取り組み、解決方法を考察し正しい解答導きだすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な入試問題、共通テストの問題を考察しようとする。	○	○	○	16
	期末考査			○	○		1
3 学 期	【知識及び技能】 ・数学Ⅰ分野の様々な入試問題に触れさせ、解法のテクニックを吸収・活用ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・様々な数学入試問題の意図を正しく読み取り、いかに素早く正確に解答への過程にたどり着ける考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・解答を求めるために粘り強く考え数学的論拠に基づき判断する。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・指導内容 数学Ⅰ分野様々な入試問題の解答方法について理解する。いかに素早く正確に解答にたどり着くか、その過程を理解した上で求められるようにする。	【知識・技能】 ・数学Ⅰ分野の入試問題に素早く正確に対応できる。 【思考・判断・表現】 ・様々な入試問題に自ら取り組み、解決方法を考察し素早く正確に正しい解答導きだすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な入試問題、共通テストの問題を考察しようとする。	○	○	○	14
							70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学A演習

教科： 数学 科目： 数学A演習 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 理系選択必修

教科担当者： 角本 大貴

使用教科書： （ 【大学入試最頻出39】 ベイシックススタイル数学演習Ⅰ・A（数研出版）, リンク数学演習Ⅰ・A（数研出版） ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し説教的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
1学年で学習した数学Aの内容(場合の数と確率、整数の性質、図形の性質)について基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	事象を数学的に表現し考察する力、着想を変えて取り組める姿勢を身に着ける。問題の趣旨を理解し、基本的な知識を応用してどのような過程で問題解決に向けて取り組むかを考察させる。また、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 ・集合、順列・組合せ、確率の分野の様々な問題について、基本的事項（公式等）を理解し正しく活用ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・様々な数学入試問題の意図を正しく読み取り、解答への過程を考察する。また、他の分野の概念を用いて着想を変えて別の過程を模索する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を数学一般の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・指導内容 集合、順列・組合せ、確率の分野について、一般的数学入試問題の解決方法について理解する。まず基本的な問題についてすでに習った解決方法を理解し、それら公式をうまく利用し、解答が導き出される過程を理解した上で求められるようにする。また、これらの知識を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知識・技能】 ・集合、順列・組合せ、確率の入試レベルの問題が解ける。 【思考・判断・表現】 ・様々な入試問題を自ら取り組み、解決方法を考察し正しい解答導きだすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な入試問題、共通テストの問題を考察しようとする。 ・自身の学びを振り返り、粘り強く学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	中間審査			○	○		1
	【知識及び技能】 ・独立な試行と確率、条件付き確率、期待値、三角形の性質、円の性質の分野の様々な問題について、基本的事項（公式等）を理解し正しく活用ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・様々な数学入試問題の意図を正しく読み取り、解答への過程を考察する。また、他の分野の概念を用いて着想を変えて別の過程を模索する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を数学一般の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・指導内容 独立な試行と確率、条件付き確率、期待値、三角形の性質、円の性質の分野について、一般的数学入試問題の解決方法について理解する。まず基本的な問題についてすでに習った解決方法を理解し、それら公式をうまく利用し、解答が導き出される過程を理解した上で求められるようにする。また、これらの知識を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知識・技能】 ・独立な試行と確率、条件付き確率、期待値、三角形の性質、円の性質の入試レベルの問題が解ける。 【思考・判断・表現】 ・様々な入試問題を自ら取り組み、解決方法を考察し正しい解答導きだすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な入試問題、共通テストの問題を考察しようとする。 ・自身の学びを振り返り、粘り強く学習に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	期末審査			○	○		1

高等学校 令和6年度（3学年用）教科				数学		科目		数学ⅡB	
教 科： 数学		科 目： 数学演習ⅡB		単位数： 2		単位			
対象学年組：第 3 学年 選択必修									
教科担当者： 長岡 宣明									
使用教科書： （ トライEX NEO 数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C ）									
教科 数学演習Ⅱ・B の目標：									

【知 識 及 び 技 能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、2 学年で習ったことを使って、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察し、入試問題を解く技術を身に着ける。、数学的な表現を用いて入試問題の解答を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し課題解決に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、入試問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目	数学演習Ⅱ・B	の目標：	
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	高次方程式、図形に計算を利用した解析幾何の部分、三角関数、対数、微分積分、数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、Linear Programing等を通じて数学的に考慮したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、特に線形計画法、確率分布や標本分布の性質に着目し、図形において、発想を変える考え方を身に着けるとともに、図形を実際に観察し計算を工夫してそれを微分積分や、漸化式の解法、母集団の傾向を推測し判断したり、仮説検定を行うものに結び付ける。問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え、様々な入試問題について、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 ○様々な数学事象の定義、表記について理解し、用語や記号を正確に用いることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○様々な数学入試問題を表す式を、うまくとらえ関数にあてはめ、新しい概念である問題、既習の関数と関連付けて考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を数学一般の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・指導内容 一般的数学入試問題の解決方法について理解する。また、基本的な問題についてはすでに習った解決方法を理解し、それらを使って、公式をうまく利用し、が導出される過程を理解した上で求められるようにする。また、これらの知識を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。 ・教材 ・一人1台端末の活用 ・スタディサプリ ・ロイロノート	【知識・技能】 ○指数。対数の入試問題を解く。 ○数列の入試問題を解く。 【思考・判断・表現】 様々な入試問題を独自の解決方法を用いて解ききることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○入試問題、共通テストの問題を考察しようとする。	○	○	○	18
	中間考查			○	○		1
	A 数列 【知識及び技能】 ○三角比からの延長の関数としての三角関数について表記について理解し、用語や記号を正確に用いることができる。また、仮説検定について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ○三角関数のグラフを通じ視覚的に課題解決を図る。仮説検定の考えを身に着ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・指導内容 三角関数について理解し、グラフについて視野を広げる。また、推定や検定を通じ、将来的TQC導入に備える。 ・教材 過去のセンター試験演習	【知識・技能】 ○三角関数の入試問題を解く。 ○確率統計、主に仮説検定の問題を解く。 【思考・判断・表現】 様々な入試問題を独自の解決方法を用いて解ききることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○入試問題、共通テストの問題を考察しようとする。 【思考・判断・表現】 様々な入試問題を独自の解決方法を用いて解ききることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○入試問題、共通テストの問題を考察しようとする。	○	○	○	18
	期末考查			○	○		1

2 学 期	B 統計的な推測 【知識及び技能】 ○高次方程式の解き方を理解している。解析幾何の ◎試行について、確率変数の確率分布を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 高次方程式のスムーズな解き方、図形の問題を計算で解く方法を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ちょっとだけ発想を変えざる考察方法を認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。粘り強く考え数学的論拠に基づき判断すること。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善すること。	・指導内容 高次方程式の解き方について理解し、円や直線といった基礎知識に発展させる。様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。 ・教材 過去のセンター試験演習	【知識・技能】 ○高次方程式解と係数に関する問題を解く。○図形と方程式、円と直線、線形計画法に関する問題を解く。 【思考・判断・表現】 様々な入試問題を独自の解決方法を用いて解ききることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○入試問題、共通テストの問題を考察しようとする。	○	○	○	17
	中間考査			○	○		1
	B 統計的な推測 【知識及び技能】 ○微分について理解し、幅広く計算ができる。積分について理解し、幅広く計算ができる。 ◎試行について、確率変数の確率分布を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 微分・積分について理解し、グラフに応用し、特徴をつかみ、様々な課題について考察し判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物の変化を微分の考え方を用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。粘り強く考え数学的論拠に基づき判断すること。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善すること。	・指導内容 微分については、定義を十分に理解させる。また計算に慣れ様々な思考を経験させる。積分についても同様であるが、特に面積の導入については注意を促したい。日常の事象の考察に活用できるようにする。 確率の定義とその性質を理解し、事象の考察に活用できるようにする。 ・教材 過去のセンター試験演習	【知識・技能】 ○微分・積分に関する問題を解く。 【思考・判断・表現】 様々な入試問題を独自の解決方法を用いて解ききることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○入試問題、共通テストの問題を考察しようとする。めることができる。	○	○	○	19
	期末考査			○	○		1

78

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科			数学	科目	数学Ⅲ
教 科：	数学	科 目：	数学Ⅲ	単位数：	4 単位
対象学年組：	第 3 学年	E 組～	F 組		
教科担当者：	(EF組：高池・石山)				
使用教科書：	(N E X T 数学Ⅲ 数研出版)				
教科	数学	の目標：			

【知 識 及 び 技 能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目	数学Ⅲ	の目標：
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】
極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。		数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】		
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 式と証明 【知識及び技能】 ・三次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 ◎ $(a+b)n$ の展開式とパスカルの三角形の関係および、パスカルの三角形の性質を理解している。 ・練習6～7 ◎二項定理を利用して、展開式やその項の係数を求めることができる。 ・例5、例題1、練習8～9 【思考力、判断力、表現力等】 ・式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 ・実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を方程式・式と証明の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・指導内容 (7) 多項式の乗法、除法の計算や、分数式の計算ができるようにする。また、恒等式について方程式と区別して理解し、様々な式の見方ができるような力を培う。 (イ) 式の計算や実数の様々な性質を活用して、等式の証明や不等式の証明ができるようにする。 (ウ) 三次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 ・教材 ・一人1 台端末の活用 ・スタディサプリ ・ロイロノート	【知識・技能】 ◎公式を利用して3次式の展開ができる。 ・例1～2、練習1、3 ◎公式を利用して3次式の因数分解ができる。 ・例3、練習4 ◎ $(a+b)n$ の展開式とパスカルの三角形の関係および、パスカルの三角形の性質を理解している。 ・練習6～7 ◎二項定理を利用して、展開式やその項の係数を求めることができる。 ・例5、例題1、練習8～9 【思考・判断・表現】 ◎不等式の基本性質を正しく用いて不等式を証明できる。また、その証明を読み取って、基本性質をどのように用いて証明しているか説明することができる。 ・例13、練習30～31 ◎絶対値の性質を利用して、絶対値記号を含む不等式を証明できる。また、その証明を読み取り、絶対値の性質をどのように用いて証明しているか説明することができる。 ・応用例題4【？】、練習35 ◎不等式の証明で、等号が成り立つ場合について考察できる。 ・小項目B、D、E 【主体的に学習に取り組む態度】 多項式の割り算および割り算で成り立つ等式を整数の割り算についてのものと比較して理解し、余りの次数にも注意して積極的に考察し、活用しようとする。	○	○	○	24
	中間考査			○	○		1
	B 複素数と方程式 【知識及び技能】 ・数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・指導内容 (ア) 数の範囲を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の計算ができるようにする。また、複素数を用いて、2次方程式やその解についてより一般的に考察できるようにする。 (イ) 高次方程式を、因数分解などの方法でより低い次数の方程式に帰着することで解いたり、その解について考察したりできるようにする。 (ウ) 座標や式を用いて、点や直線についてその性質や関係を数学的に表現できるようにし、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 (エ) 座標や式を用いて、円についてその性質を数学的に表現できるようにし、直線との関係、円どうしの関係など事象の考察に活用できるようにする。 ・教材 ・一人1 台端末の活用 ・スタディサプリ ・ロイロノート	【知識・技能】 ◎複素数に関する用語の定義および複素数の相等の定義を理解している。 ・例1、例題1、練習1～2 ◎複素数の加法、減法、乗法の計算ができる。 ・例2～3、練習3～4 ◎共役複素数の定義を理解し、それを利用して複素数の除法の計算ができる。 ・例4～5、練習5～6 ◎負の数の平方根について理解し、それらを含む式の計算ができる。 ・例6～7、練習7～8 【思考・判断・表現】 ◎負の数の平方根の積について、正の数の平方根で成り立っていた計算法則が成り立たないことを考察できる。 ・練習9 【主体的に学習に取り組む態度】 ◎数の範囲を実数から複素数へ拡張することについて、有理数から実数に拡張したことと関連させ、考察しようとする。 ・p. 44 ◎複素数が四則について閉じていることなど、複素数の性質を、実数の性質と関連させながら理解し、考察しようとする。 ・p. 48	○	○	○	12
	期末考査			○	○		1

2 学 期	C 図形と方程式 【知識及び技能】 ○2つの円の位置関係を，中心間の距離と半径の関係から調べることができる。 ◎2つの円の位置関係と，中心間の距離と半径の関係から，円の方程式を求めることができる。 ○2円の交点を通る図形の方程式を，$kF(x, y) + G(x, y) = 0$の形を利用して求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 2つの円の共有点について，2つの円の方程式を適切に変形して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・2つの円の方程式から導かれる1次方程式について，それが表す直線がどのようなものか考察しようとする。粘り強く考え数学的論拠に基づき判断すること。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善すること。	・指導内容 (ア)座標や式を用いて，円についてその性質を数学的に表現できるようにし，直線との関係，円どうしの関係など事象の考察に活用できるようにする。 (イ)図形を与えられた条件を満たす点の集合として認識し，軌跡の方程式が求められるようにする。また，不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解する。さらに，軌跡や領域を事象の考察に活用できるようにする。 (ウ)角の概念を一般角まで拡張して，三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について理解し，それらを多面的に考察できるようにする。 (エ)加法定理および加法定理から導かれる様々な定理を理解し，それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・教材 ・一人1台端末の活用 ・スタディサプリ ・ロイロノート	【知識・技能】 ◎軌跡の定義を理解し，与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。 ・例13，例題17，練習35 ◎媒介変数処理が必要な軌跡を求めることができる。 ・応用例5，練習36 【思考・判断・表現】 ◎直線に関して対称な点の座標について，図形の条件を式で表現し，考察することができる。 ・応用例2，練習18 ○$kF(x, y) + G(x, y) = 0$の形の方程式が，2直線の交点を通る直線を表す理由を理解し，説明することができる。 ・p. 92 研究 【主体的に学習に取り組む態度】 ○座標平面を用いて図形の性質を一般的に証明する際，一般性を崩さないように点の座標を設定することや，座標軸のとり方によらず証明できることなどに興味をもち，様々な座標や座標軸の設定法を試そうとする。	○	○	○	20
	中間考査			○	○		1
	C 三角関数 【知識及び技能】 ◎弧度法で表された角の三角関数の値を，三角関数の定義によって求めることができる。 ◎三角関数の相互関係を理解し，それらを利用して様々な値を求めたり，式変形をしたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○三角関数の値の符号について考察できる。また，値の増減についても考察し，それを適切に表現できる。 ・練習8，p. 135 Expression ○3つある三角関数の相互関係のどれを用いるかや，式変形の方法を，その理由とともに適切に判断して問題を解決することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○三角比の定義を一般化して，三角関数の定義を考察しようとする。 ○三角比の相互関係について，既習である円の方程式と関連付けて，多面的に考察しようとする。	・指導内容 (ア)加法定理および加法定理から導かれる様々な定理を理解し，それらを事象の考察に活用できるようにする。 (イ)指数を実数まで拡張する意義を理解し，指数関数を事象の考察に活用できるようにする。 (ウ)対数の定義とその性質を理解し，対数関数，特に常用対数を事象の考察に活用できるようにする。 ・教材 ・一人1台端末の活用 ・スタディサプリ ・ロイロノート	【知識・技能】 ◎一般角について理解し，一般角を表す動径を図示したり，動径の表す角を$\alpha + 360^\circ \times n$と表したりできる。 ・例1，練習1～2 ◎弧度法の定義を理解し，度数法と弧度法の換算ができる。また，動径が表す角について弧度法で考えることができる。 ・練習3～5 ◎扇形の弧の長さや面積を，式を用いて求めることができる。 ・例2，練習6 【思考・判断・表現】 ○2倍角の公式を利用して，やや複雑な三角関数を含む方程式・不等式の角を統一して考察することができる。 ・応用例3，練習42～43 ◎三角関数の合成を用いて式を変形することで，既習の形に帰着し，関数の最大値・最小値を求めたり，方程式を解いたりすることができる。 ・例題6，練習45～46 【主体的に学習に取り組む態度】 ○加法定理を利用して，様々な公式を導出・証明しようとする。 ・小項目A，B，D，練習39 ○同じ周期をもつ2つの関数 $y = \sin x$と$y = \cos x$の和について，そのグラフが正弦曲線になることに興味をもち，式変形やグラフなど，様々な方法で考察しようとする。 ・小項目D，例題6【？】	○	○	○	24
	D 指数関数と対数関数 【知識及び技能】 ○指数と対数を相互に書き換えることができる。 ・例7，練習16～17 ◎対数の定義を理解し，対数の値を求めることができる。 ・例8，練習18 ◎対数の性質に基づいて，種々の対数の値の計算ができる。 ・例9，練習20 ◎底の変換公式を適用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○対数の値が存在することを，グラフによって考察することができる。 ・p. 189 ○指数法則を利用して，対数の性質を証明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○指数と対数の関係に興味をもち，性質や計算において，その関係を見出そうとする。	・指導内容 (ア)対数の定義とその性質を理解し，対数関数，特に常用対数を事象の考察に活用できるようにする。 ・教材 ・一人1台端末の活用 ・スタディサプリ ・ロイロノート	【知識・技能】 ◎指数が整数の場合の累乗の定義を理解し，累乗の計算や，指数法則を用いた計算をすることができる。 ・例1～2，練習1～2 ◎累乗根の定義や性質を理解し，累乗根の値を求めたり計算したりすることができる。 ◎指数が有理数の場合の累乗の定義を理解し，累乗の計算や，指数法則を用いた計算をすることができる。 【思考・判断・表現】 ○正の数の累乗根がただ1つ存在することを，グラフによって考察することができる。 ・p. 177 ○累乗根の性質の証明の1つを参考に，別の性質を証明することができる。 ・練習4 ○指数が無理数の場合の累乗の意味を理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○0乗，負の整数乗，分数乗は，指数法則が成り立つように定義されていることを理解し，その定義について考察しようとする。 ・小項目A，C ○指数法則を用いた計算について，いくつかの方法を試し，よりよい計算方法を検討しようとする。 ・例題1【？】 ○負の数のn乗根に興味をもち，その値が存在するかどうかも含めて具体的に考察しようとする。 ・p. 181 研究	○	○	○	10
	期末考査			○	○		1

3 学 期	F 微分法と積分法 【知識及び技能】 - 不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 - 微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 - 事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 - 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善すること。	・指導内容 (ウ)導関数を用いて、関数の値の増減が調べられるようにする。また、それを用いて関数のグラフをかいたり、さらにグラフを様々な事象の考察に活用したりできるようにする。 (エ)不定積分や定積分について理解し、それらの有用性を認識するとともに、定積分を用いてグラフで囲まれた図形の面積が求められるようにする。 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 - 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその使い方を理解している。 - コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 - 具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。 【思考・判断・表現】 - データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 - 目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 - 不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 - 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	12
	学年末考查			○	○		合計

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科		理科	科目	物理
教 科：	理科	科 目：	物理	単位数：5 単位
対象学年組：	第 3 学年 E 組～ F 組			
教科担当者：	(EF組 櫻井 一雄)			
使用教科書：	(数研出版「物理」 (物理706))			
教科	理科	の目標：		
【知 識 及 び 技 能】		自然の事物・現象に対する概念や原理、法則への理解を深めるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験に関する技能を身に付けるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】		自然の事物・現象に関して、理科の見方・考え方を活用して論理的に考察する力、科学的な表現を用いて明瞭・的確に表現する力を養う。		
【学びに向かう力、人間性等】		自然の事物・現象に関して、主体的に関わり科学的に探究しようとする態度、視野を広く持ち科学的な根拠に基づいた多面的な判断をしようとする態度、それらの過程を振り返って自身の行動を評価・改善しようとする態度を養う。		

科目	物理	の目標：	
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物理現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な基本的な知識・技能を身に付ける。		観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うとともに、論理的に考え科学的な見方・考え方をを用いて表現することができる。	様々な物理現象に対する自然科学の視点を育み、科学的に探究しようとする態度、科学技術の発展や適切な利用を目指す姿勢を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編 力と運動 ・平面内の運動についての理解を深め適切に扱えるようにする。 ・剛体についての理解を深め適切に扱えるようにする。 ・運動量の保存についての理解を深め適切に扱えるようにする。 ・円運動と万有引力についての理解を深め適切に扱えるようにする。	1章 平面内の運動 1. 平面運動の速度・加速度 2. 落体の運動 2章 剛体 1. 剛体にはたらく力のつり合い 2. 剛体にはたらく力の合力と重心 第3章 運動量の保存 1. 運動量と力積 2. 運動量保存則 3. 反発係数 第4章 円運動と万有引力 1. 等速円運動 2. 慣性力 3. 単振動 4. 万有引力	【知識・技能】 ・平面内の運動、剛体、運動量の保存、円運動と万有引力について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・平面内の運動、剛体、運動量の保存、円運動と万有引力に関する問題に取り組むことができる。 【思考・判断・表現】 ・平面内の運動、剛体、運動量の保存、円運動と万有引力について、論理的に捉え現象を適切に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・平面内の運動、剛体、運動量の保存、円運動と万有引力について、科学的に探究しようとする態度、科学技術の発展や適切な利用を目指す姿勢を持っている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	第2編 熱と気体 ・気体のエネルギーと状態変化 第3編 波 ・波の伝わり方 ・音の伝わり方 ・光	1章 気体のエネルギーと状態変化 1. 気体の法則 2. 気体分子の運動 3. 気体の状態変化 1章 波の伝わり方 1. 波と媒質の運動 2. 正弦波の式 3. 波の伝わり方 2章 音の伝わり方 1. 音の伝わり方 2. 音のドップラー効果 3章 光 1. 光の性質 2. レンズと鏡 3. 光の干渉と回折	【知識・技能】 ・気体のエネルギーと状態変化、波の伝わり方、音の伝わり方、光について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・平面内の運動、剛体、運動量の保存、円運動と万有引力に関する問題に取り組むことができる。 【思考・判断・表現】 ・気体のエネルギーと状態変化、波の伝わり方、音の伝わり方、光について、論理的に捉え現象を適切に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・気体のエネルギーと状態変化、波の伝わり方、音の伝わり方、光について、科学的に探究しようとする態度、科学技術の発展や適切な利用を目指す姿勢を持っている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第4編 電気と磁気 ・電場 ・電流 ・電流と磁場	1章 電場 1. 静電気力 2. 電場 3. 電位 4. 物質と電場 5. コンデンサー 2章 電流 1. オームの法則 2. 直流回路 3. 半導体 3章 電流と磁場 1. 磁場 2. 電流の作る磁場 3. 電流が磁場から受ける力 4. ローレンツ力	【知識・技能】 ・電場、電流、電流と磁場について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・電場、電流、電流と磁場に関する問題に取り組むことができる。 【思考・判断・表現】 ・電場、電流、電流と磁場について、論理的に捉え現象を適切に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電場、電流、電流と磁場について、科学的に探究しようとする態度、科学技術の発展や適切な利用を目指す姿勢を持っている。	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
	第4編 電気と磁気 ・電磁誘導と電磁波 第5編 原子 ・電子と光 ・原子と原子核	4章 電磁誘導と電磁波 1. 電磁誘導の法則 2. 自己誘導と相互誘導 3. 交流の発生 4. 交流回路 5. 電磁波 1章 電子と光 1. 電子 2. 光の粒子性 3. X線 4. 粒子の波動性 2章 原子と原子核 1. 原子の構造とエネルギー単位 2. 原子核 3. 放射線とその性質 4. 核反応と核エネルギー 5. 素粒子	【知識・技能】 ・電磁誘導と電磁波、電子と光、原子と原子核について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・電磁誘導と電磁波、電子と光、原子と原子核に関する問題に取り組むことができる。 【思考・判断・表現】 ・電磁誘導と電磁波、電子と光、原子と原子核について、論理的に捉え現象を適切に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電磁誘導と電磁波、電子と光、原子と原子核について、科学的に探究しようとする態度、科学技術の発展や適切な利用を目指す姿勢を持っている。	○	○	○	30
	定期考査			○	○	○	1

3 学 期	第5編 原子 ・物理が築く未来	物理学が築く未来	【知識・技能】 ・物理学が築く未来について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・物理学が築く未来に関する問題に取り組むことができる。 【思考・判断・表現】 ・物理学が築く未来について、論理的に捉え現象を適切に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物理学が築く未来について、科学的に探究しようとする態度、科学技術の発展や適切な利用を目指す姿勢を持っている。	○	○	○	5
	入試問題演習	・共通テスト演習 ・大学入試問題演習	・大学の入試問題へ取り組む。	○	○		5
							合計
							113

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物

教 科： 理科 科 目： 生物 単位数： 5 単位

対象学年組：第 3 学年 E 組～ F 組

教科担当者： （EF組 赤間 大志）

使用教科書： （ 東京書籍「生物」（生基702） ）

教科 理科 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】自然の事物・現象に対する概念や原理、法則への理解を深めるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験に関する技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】自然の事物・現象に関して、理科の見方・考え方を活用して論理的に考察する力、科学的な表現を用いて明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に関して、主体的に関わり科学的に探究しようとする態度、視野を広く持ち科学的な根拠に基づいた多面的な判断をしようとする態度、それらの過程を振り返って自身の行動を評価・改善しようとする態度を養う。

科目 生物 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うとともに、論理的に考え科学的な見方・考え方をを用いて表現することができる。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 生物の進化 ・生物の進化について、生命の起源と細胞の進化を理解する。また、それらの特徴を見出して表現する。 ・遺伝子の変化と進化のしくみについて理解するとともに、それらの特徴を踏まえて知識を活用できる。 ・生物の系統と進化を関連付けて考え、それらの過程を理解する。	・生命の起源 ・細胞の進化 ・遺伝子の変化と進化のしくみ ・生物の系統と分類	【知識・技能】 ・生物の進化について、生命の起源と細胞の進化の基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・遺伝子レベルでの進化について、生命の起源と細胞の進化の基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・生物の系統について、生命の起源と細胞の進化の基本的な概念や原理・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 ・生物の進化について、観察や実験などの活動を通して、生命の起源と細胞の進化に関する特徴を見出して表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生命の進化について、主体的に関わり、見通しをもって振り返りをしている。	○	○	○	20
	1 定期考査			○	○		1
	2 生命現象と物質 ・細胞と分子について理解し、その構造や役割について特徴を見出すことができる。 ・代謝について理解し、その特徴を見出すとともに、酵素の役割についても理解する。	・細胞の構造 ・タンパク質の構造 ・酵素 ・呼吸 ・光合成	【知識・技能】 ・細胞と分子について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・代謝について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 ・生命現象と物質について、観察や実験などの活動を通して、生命現象と物質に関する特徴を見出して表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生命現象と物質について、主体的に関わり、見通しをもって振り返りをしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1

2 学 期	3 遺伝情報の発現と発生 ・遺伝情報の発現と発生について、理解するとともに、それらの特徴を見出して表現する。 ・発生と遺伝子発現の関係を理解するとともに、真核生物や原核生物との特徴と関連付けて説明できる。 ・遺伝子を扱う技術について理解し、その役割や責任について考える。	・DNA ・転写と翻訳 ・原核生物の遺伝子発現 ・真核生物の遺伝子発現 ・動物の発生 ・遺伝子発現の調節 ・遺伝子を扱う技術	【知識・技能】 ・遺伝情報とその発現について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・遺伝子発現と発生について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・遺伝子を扱う技術について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 ・遺伝情報の発現と発生について、観察や実験などの活動を通して、遺伝情報の発現と発生に関する特徴を見出して表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・遺伝情報の発現と発生について、主体的に関わり、見通しをもって振り返りを行っている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	4 生物の環境応答 ・動物の反応を理解し、それらの特徴を見出して表現する。 ・動物の行動と神経系の役割を関連付けて理解し、そのつながりを説明する。 ・植物の成長や反応に関わるしくみについて理解し、それらの関わり合いから植物の反応の目的を考える。	・刺激の受容と反応 ・神経系 ・効果器 ・動物の行動 ・植物の行動 ・植物ホルモン	【知識・技能】 ・動物の反応について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・神経系の役割と動物の行動について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・植物の環境応答についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 ・遺伝情報の発現と発生について、観察や実験などの活動を通して、生物の環境応答に関する特徴を見出して表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生物の環境応答について、主体的に関わり、見通しをもって振り返りを行っている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	5 生態と環境 ・個体群と生物群集のことを理解し、生態系における生物間の関係を説明する。 ・生態系の物質生産と物質循環をそれらの特徴とともに理解する。 ・生態系と人間生活のつながりを理解し、互いに影響を考える。	・個体群と生物群集 ・相互作用 ・食物網 ・物質生産 ・物質循環 ・生物多様性 ・人間生活と生態系	【知識・技能】 ・生態と環境について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・生態系の物質生産と物質循環について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・生態系と人間生活についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 ・生態系内の生物の関係性について、観察や実験などの活動を通して、生体と環境に関する特徴を見出して表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・成体と環境について、主体的に関わり、見通しをもって振り返りを行っている。	○	○	○	10
	入試問題演習	・共通テスト演習 ・大学入試問題演習	・大学の入試問題へ取り組む。	○	○		10 合計 104

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

芸術科

科目 絵画制作

教科： 芸術科

科目： 絵画制作

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組

教科担当者： (ABCDEF組：阿部)

使用教科書： (なし)

教科 芸術科

の目標：

【知識及び技能】

芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 絵画制作

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ	映						
1 学 期	A オリジナルのポートフォリオをつくらう（絵画・デザイン） オリジナルのをポートフォリオ企画し、デザインやコンテンツを考案し作成する。最後には、各自プレゼンテーションを行う 【知識及び技能】 ・ポートフォリオの特徴などを基に、冊子全体のイメージを大切にし、デザインしていくこと理解する。 ・各ページのエディトリアルデザインのスキルを身につけ、効果的に作品を配置できるようにする。 ・ポートフォリオという表現方法の中で、創意工夫し、主題を追求して創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身が感じ取ったことや考えたことから新たに作品を制作し、表現形式の特性を生かし、構図や明暗などを考え創造的な表現の構想を練る。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にポートフォリオという形式から自身を表すことや考えたことを伝えるなど、表現の創造活動に取り組もうとする。 ・主体的に他者の作品集の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したいデザインなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとする。	・指導事項 ○作成するもの Adobe Express等を活用し、以下のものを制作する ① ポートフォリオのアイデア出しプリント類（3種類） ② 表紙・裏表紙のデザイン ③ プロフィールの作成 ④ 中ページの作成 A 今までに作成した作品 B テーマを決め新たに作品（デザイン）を作成する C その他活動実績や自身のアピールポイント ⑤ プレゼンテーション（1人 10分程度） ・教材 鉛筆、スケッチブック、Dスケール、練りゴム ・一人1台端末の活用 等 ○Adobe ExpressとTeamsを活用し、冊子のデザインを行う。 ○出来上がったポートフォリオをTeamsにアップロードする	○	○		○	【知識及び技能】 ・ポートフォリオの特徴などを基に、冊子全体のイメージを大切にし、デザインしていくこと理解している。 ・各ページのエディトリアルデザインのスキルを身につけ、効果的に作品を配置できる。 ・ポートフォリオという表現方法の中で、創意工夫し、主題を追求して創造的に表すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身が感じ取ったことや考えたことから新たに作品を制作し、表現形式の特性を生かし、構図や明暗などを考え創造的な表現の構想を練ることができる。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にポートフォリオという形式から自身を表すことや考えたことを伝えるなど、表現の創造活動に取り組もうとしている。 ・主体的に他者の作品集の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したいデザインなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	○	○	○	26
2 学 期	A 卒業制作（絵画・デザイン・映像・鑑賞） 自身が表現形式を設定し、主体的に制作する。テーマの作成、描画材の選択も一から行い、制作する。最後には、各自プレゼンテーションを行う 【知識及び技能】 ・自分に合った造形表現の基礎を理解し、その表現方法を身に付け、自身の作品に活かす。 ・さまざまな画材の基本的な技法を身に付け、創意工夫し、主題を追求して創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身が感じ取ったことや考えたことから新たに作品を制作し、表現形式の特性を生かし、創造的な表現の構想を練る。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に自身を表すことや考えたことを伝えるなど、表現の創造活動に取り組もうとする。 ・主体的に他者の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい作品やデザインなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとする。	指導事項 ○自身が表現形式を設定し、主体的に制作する。テーマの作成、描画材の選択も一から行い、制作する ○自分のテーマや制作のアイデアを考える。高校生の自分が表現したいものは何であるのかを追求する ○テーマを表現するために、表現形態、素材、支持体を考え、制作する ○制作した作品を展示、鑑賞する ・教材 各自選択した表現に合わせた画材 ・一人1台端末の活用 等 ○制作した作品の画像を撮影し、その変容や作品の変化を読みとる。 ○作品の鑑賞を行い、意見交換をしながら表現の視野を広げる	○	○		○	【知識及び技能】 ・自分に合った造形表現の基礎を理解し、その表現方法を身に付け、自身の作品に活かすことができる。 ・さまざまな画材の基本的な技法を身に付け、創意工夫し、主題を追求して創造的に表すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身が感じ取ったことや考えたことから新たに作品を制作し、表現形式の特性を生かし、創造的な表現の構想を練っている。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に自身を表すことや考えたことを伝えるなど、表現の創造活動に取り組もうとしている。 ・主体的に他者の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい作品やデザインなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。				28

高等学校 令和6年度（3学年用）教科		外国語	科目	英語コミュニケーションⅢ
知 識 及 び 技 能】		科 目：	英語コミュニケーションⅢ	単位数： 4 単位
対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組				
教科担当者：（ A組：菊地 ）（ B組：北原 ）（ C組：谷口 ）（ D組：谷口 ）（ E組：菊地 ）（ F組：北原 ）				
使用教科書：（ 第一学習社 CREATIVE English Communication Ⅲ ）				
教科 外国語		の目標：		
【知 識 及 び 技 能】		外国語の理解を深めながら、その知識を実際のコミュニケーションで適切に活用できる技能を身に付ける		
【思考力、判断力、表現力等】		日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解し表現し伝え合う力を養う		
【学びに向かう力、人間性等】		外国語の背景にある文化の理解を深め、主体的、自立的に外国語によるコミュニケーションを図る態度を養う		
科目 英語コミュニケーションⅢ		の目標：		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞く事、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手。話し手、書きてに配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
Lesson 1	・分詞構文の否定形 ・日本・世界の高速鉄道の発達について的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・聞き手に配慮して、自分が好きな交通機関とその理由について説明しようとしている。 ・鈍行列車のよい点を述べたエッセイを読み、本文と読み比べ、高速鉄道と鈍行列車のどちらが好きか自分の考えを述べる ことができる。	<題材内容とねらい> ・日本・世界の高速鉄道の発達について的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・鈍行列車のよい点を述べたエッセイを読み、本文と読み比べ、高速鉄道と鈍行列車のどちらが好きか自分の考えを述べる ことができる。 <文型・文法事項> ・分詞構文の否定形について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <場面・状況など> ・聞き手に配慮して、自分が好きな交通機関とその理由について説明しようとしている。						【知識及び技能】 <聞くこと> リズムなどの音声上の特徴を理解している。また、日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。 <読むこと> 語順や意味のまとまりなどを理解している。また、日常的・社会的な話題の英文を読む際に、語順や意味のまとまりなどの知識を活用することができる。 <話すこと> リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝える際に、発表のときに必要な表現などの知識を活用することができる。 発表のときに必要な表現などを理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝える際に、発表のときに必要な表現などの知識を活用することができる。 <書くこと> 語順やパラグラフの構造などを理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、語順やパラグラフの構造などの知識を活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 <聞くこと> コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、話し手の意図を聞き取ることができる。 <読むこと> コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、書き手の意図を読み取ることができる。 <話すこと> コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく話して伝え合うことができる。 コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく話して伝えることができる。 <書くこと> コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく書いて伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 <聞くこと> 話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を聞こうとしている。 <読むこと> 書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読もうとしている。 <話すこと> 聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りしようとしている。 聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語で発表しようとしている。 <書くこと> 読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英文を書こうとしている。				
1 学 期			○	○	○	○	○		○	○	○	10

[illegible]

Lesson 3 ・進行形の受け身 ・アスリートが発する社会的なメッセージについての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・オリンピック憲章についてのディベートをしようとしている。 ・オリンピック憲章の条項を読み、本文と読み比べ、条項を改定すべきか自分の考えを述べることができる。	<題材内容とねらい> ・アスリートが発する社会的なメッセージについての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・オリンピック憲章の条項を読み、本文と読み比べ、条項を改定すべきか自分の考えを述べることができる。 <文型・文法事項> ・進行形の受け身について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <場面・状況など> ・オリンピック憲章についてのディベートをしようとしている。					【知識及び技能】 <聞くこと> リズムなどの音声上の特徴を理解している。また、日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。 <読むこと> 語順や意味のまとまりなどを理解している。また、日常的・社会的な話題の英文を読む際に、語順や意味のまとまりなどの知識を活用することができる。 <話すこと> リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝える際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。 発表のときに必要な表現などを理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝える際に、発表のときに必要な表現などの知識を活用することができる。 <書くこと> 語順やパラグラフの構造などを理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、語順やパラグラフの構造などの知識を活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 <聞くこと> コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、話し手の意図聞き取ることができる。 <読むこと> コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、書き手の意図を読み取ることができる。 <話すこと> コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく話して伝え合うことができる。 コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく話して伝えることができる。 <書くこと> コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく書いて伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 <聞くこと> 話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を聞くようとしている。 <読むこと> 書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読むようとしている。 <話すこと> 聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りしようとしている。 聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語で発表しようとしている。 <書くこと> 読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英文を書くようとしている。					10
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-----------

[illegible]

Lesson 5 ・イギリス英語のスペリング ・社会のデジタル化についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・電子書籍と紙の書籍についてのディベートをしようとしている。 ・紙の文書のよさを伝えるブログを読み、本文と読み比べ、デジタル化された文書と紙の文書のどちらが好きか自分の考えを述べることができる。		<題材内容とねらい> ・社会のデジタル化についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・紙の文書のよさを伝えるブログを読み、本文と読み比べ、デジタル化された文書と紙の文書のどちらが好きか自分の考えを述べることができる。 <五領域の知識・技能> ・イギリス英語のスペリングについて理解を深めることができる。 <場面・状況など> ・電子書籍と紙の書籍についてのディベートをしようとしている。						【知識及び技能】 <聞くこと> リズムなどの音声上の特徴を理解している。また、日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。 <読むこと> 語順や意味のまとまりなどを理解している。また、日常的・社会的な話題の英文を読む際に、語順や意味のまとまりなどの知識を活用することができる。 <話すこと> リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。 発表のときに必要な表現などを理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝える際に、発表のときに必要な表現などの知識を活用することができる。 <書くこと> 語順やパラグラフの構造などを理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、語順やパラグラフの構造などの知識を活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 <聞くこと> コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、話し手の意図を聞き取ることができる。 <読むこと> コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、書き手の意図を読み取ることができる。 <話すこと> コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく話して伝え合うことができる。 コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく話して伝えることができる。 <書くこと> コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく書いて伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 <聞くこと> 話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を聞こうとしている。 <読むこと> 書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読もうとしている。 <話すこと> 聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りしようとしている。 聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語で発表しようとしている。 <書くこと> 読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英文を書こうとしている。				10
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

[illegible]

Lesson 7・コロンの用法 ・スポーツ栄養についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・自分でレシピを考え、それがどのような体によいかを書こうとしている。 ・レシピを読み、本文と読み比べ、ほかに付け加えるべき料理や食材について、自分の考えを説明することができる。	<題材内容とねらい> ・スポーツ栄養についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・レシピを読み、本文と読み比べ、ほかに付け加えるべき料理や食材について、自分の考えを説明することができる。 <五領域の知識・技能> ・コロンの用法について理解を深めることができる。 <場面・状況など> ・自分でレシピを考え、それがどのような体によいかを書こうとしている。							【知識及び技能】 <聞くこと> リズムなどの音声上の特徴を理解している。また、日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。 <読むこと> 語順や意味のまとまりなどを理解している。また、日常的・社会的な話題の英文を読む際に、語順や意味のまとまりなどの知識を活用することができる。 <話すこと> リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。 発表のときに必要な表現などを理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝える際に、発表のときに必要な表現などの知識を活用することができる。 <書くこと> 語順やパラグラフの構造などを理解している。また、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、語順やパラグラフの構造などの知識を活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 <聞くこと> コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、話し手の意図を聞き取ることができる。 <読むこと> コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、書き手の意図を読み取ることができる。 <話すこと> コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく話して伝え合うことができる。 コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく話して伝えることができる。 <書くこと> コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく書いて伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 <聞くこと> 話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を聞こうとしている。 <読むこと> 書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読もうとしている。 <話すこと> 聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りしようとしている。 聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語で発表しようとしている。 <書くこと> 読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英文を書こうとしている。				10
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅲ

教科： 外国語 科目： 論理・表現Ⅲ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ F 組

教科担当者： （AB組：谷口・中鉢・菊（CD組：菊地・谷口・岸（EF組：中鉢・谷口・菊

使用教科書： （ Vision Quest English Logic&ExpressionⅢ, Vintage 3rd Edition, Vintage準拠問題集Canvas, Aviator60I）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】

外国語の理解を深めながら、その知識を実際のコミュニケーションで適切に活用できる技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】

日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解し表現し伝え合う力を養う

【学びに向かう力、人間性等】

外国語の背景にある文化の理解を深め、主体的、自立的に外国語によるコミュニケーションを図る態度を養う

科目	論理・表現Ⅲ	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
大学受験レベルの基本的な文法・語法を習得し、長文読解や英作文等に活かせるようにする。	今までの経験や学習活動を踏まえ、身近な問題や社会で起きている問題について自分の意見を書いたり話したりして相手に伝えられる。	自分に必要な学習に自ら取り組み、授業中も周りの生徒や教員と活発な意見交換や質問を行い、理解を深めようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 「や」	話 「発」	書					
1 学 期	・分詞 【知識及び技能】 文法項目を理解し、実際に使えるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 実際に会話や英作文で正確かつ分かりやすい表現を使ってコミュニケーションができる。 【学びに向かう力、人間性等】 相手の話や作文に真摯に向かい合い、理解しようとする。	Canvas 第7章 分詞 Writing課題	○	○			○	【知識及び技能】 文法項目とルールを理解し、実際の 文で使えるか。 【思考力、判断力、表現力等】 実際の会話や英作文・スピーチ・プレゼンテーション等の中で相手に伝わる表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 人とのコミュニケーションにおいて、積極的に理解しようとしている。	○	○	○	5
	・関係詞 【知識及び技能】 文法項目を理解し、実際に使えるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 実際に会話や英作文で正確かつ分かりやすい表現を使ってコミュニケーションができる。 【学びに向かう力、人間性等】 相手の話や作文に真摯に向かい合い、理解しようとする。	Canvas 第8章 関係詞 Writing課題	○	○			○	【知識及び技能】 文法項目とルールを理解し、実際の 文で使えるか。 【思考力、判断力、表現力等】 実際の会話や英作文・スピーチ・プレゼンテーション等の中で相手に伝わる表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 人とのコミュニケーションにおいて、積極的に理解しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査								○	○		1
	・接続詞 【知識及び技能】 文法項目を理解し、実際に使えるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 実際に会話や英作文で正確かつ分かりやすい表現を使ってコミュニケーションができる。 【学びに向かう力、人間性等】 相手の話や作文に真摯に向かい合い、理解しようとする。 判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	Canvas 第9章 接続詞 プレゼンテーション課題	○	○	○			【知識及び技能】 文法項目とルールを理解し、実際の 文で使えるか。 【思考力、判断力、表現力等】 実際の会話や英作文・スピーチ・プレゼンテーション等の中で相手に伝わる表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 人とのコミュニケーションにおいて、積極的に理解しようとしている。	○	○	○	8
	・比較 【知識及び技能】 文法項目を理解し、実際に使えるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 実際に会話や英作文で正確かつ分かりやすい表現を使ってコミュニケーションができる。 【学びに向かう力、人間性等】 相手の話や作文に真摯に向かい合い、理解しようとする。 【学びに向かう力、人間性等】	Canvas 第12章 比較 プレゼンテーション課題	○	○	○			【知識及び技能】 文法項目とルールを理解し、実際の 文で使えるか。 【思考力、判断力、表現力等】 実際の会話や英作文・スピーチ・プレゼンテーション等の中で相手に伝わる表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 人とのコミュニケーションにおいて、積極的に理解しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査								○	○		1

2 学 期	文法演習 【知識及び技能】 文法項目や言葉のルールを理解し、実際に使えるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 実際に会話や英作文で正確かつ分かりやすい表現を使ってコミュニケーションができる。 【学びに向かう力、人間性等】 相手の話や作文に真摯に向かい合い、理解しようとする。	Aviator600 Day1～Day5 Writing課題																	
	文法演習 【知識及び技能】 文法項目や言葉のルールを理解し、実際に使えるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 実際に会話や英作文で正確かつ分かりやすい表現を使ってコミュニケーションができる。 【学びに向かう力、人間性等】 相手の話や作文に真摯に向かい合い、理解しようとする。	Aviator600 Day6～Day10 発表課題																	
3 学 期	文法演習 【知識及び技能】 文法項目や言葉のルールを理解し、実際に使えるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 実際に会話や英作文で正確かつ分かりやすい表現を使ってコミュニケーションができる。 【学びに向かう力、人間性等】 相手の話や作文に真摯に向かい合い、理解しようとする。	Aviator600 入試直前対策																	
	文法演習 【知識及び技能】 文法項目や言葉のルールを理解し、実際に使えるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 実際に会話や英作文で正確かつ分かりやすい表現を使ってコミュニケーションができる。 【学びに向かう力、人間性等】 相手の話や作文に真摯に向かい合い、理解しようとする。																		
合 計																			
30																			

单位数： 2 单位

教科 情報 の目標：

効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。

様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 自選 情報Ⅰ演習 の目標：

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 情報社会 0 1 情報社会と問題解決 ・情報社会の現状について理解する。 ・情報の特性について理解する。 ・情報のモラルと情報化が個人に及ぼす影響について理解する。 ・問題解決の手順について理解する。 ・問題の発見の方法について理解する。 ・問題を明確化する方法について理解する。 ・解決案を検討したり、整理・分析したりする方法について理解する。 ・合意形成を目指した解決案を決定する方法について理解する。 ・実行した解決案を評価する方法について理解する。	・情報社会と情報 ・情報の特性 ・情報のモラルと個人に及ぼす影響 ・問題解決 ・問題の発見 ・問題の明確化 ・解決案の検討 ・解決案の決定 ・解決案の実施と評価	・情報社会の現状についてインターネット等で調べようとしている。			○	4
			・データ、情報、知識の意味と相互の関係について説明することができる。	○			
			・ビッグデータの意味について説明することができる。	○			
			・ビッグデータの活用例を挙げることができる。		○		
			・情報化が進展する社会の特質について説明することができる。	○			
			・情報の特性を活用した事例と、情報の特性によって生じる事例を挙げることができる。		○		
			・SNSの活用など、不特定多数を対象としたコミュニケーションの注意点を挙げることができる。		○		
			・情報と情報技術の活用により加害者にならないための注意点や被害者にならないための対策方法をそれぞれ挙げることができる。		○		
			・情報社会と人間との関わりについて考え、理解する。	○			
			・ネット依存等、情報化が個人に及ぼす影響について考え、自らの情報活用について振り返り、改善方法しようとしている。			○	
			・問題や問題解決の意味、問題解決の手順について説明することができる。	○			
			・問題の発見のための現状の把握の方法について具体的な例を挙げることができる。	○			
			・問題発見のための現状分析の方法を考え、適切に選択できる。		○		
			・主体的に問題解決に取り組み貢献しようとしている。			○	
			・ブレインストーミングやグループディスカッション等、問題の発見・解決のためのグループでの活動には積極的に参画している。			○	
			・問題の明確化のための目的や目標の設定や、問題の構造を分析することができる。	○			
			・問題の解決案を検討するために、情報の収集・整理することができる。	○			
			・問題の解決案を検討するために必要な情報を収集・整理し、検討のための適切な資料を作成できる。		○		
			・問題解決の制約条件を考え、目的と目標の設定を適切に行うことができる。		○		
			・問題の解決案を比較検討する資料をしたり、問題解決の工程表を作成したりすることができる。	○			
	・個人あるいはグループで解決案を検討し、制約条件の中で最適な解決案を判断して決定できる。		○				
	・グループで合意を形成できるよう、適切な問題解決の計画を立案することができる。		○				
	・問題解決の評価の方法について理解している。	○					
	・問題解決に適合した評価を計画・実施して、分析しやすいように評価結果を纏めることができる。		○				
	0 2 情報セキュリティと法規 0 3 知的財産権の扱い ・知的財産権について理解する。 ・他人の著作物を適切に利用したり、自分の著作物を公開したりする方法を理解する。 ・個人情報とプライバシーについて理解し、それらを保護する方法を身に付ける。	・知的財産 ・情報の利用と公開 ・個人情報の保護と管理	・試行錯誤しながら、粘り強く問題の発見・解決に取り組んでいる。			○	4
			・問題解決の結果を振り返り、積極的に自己評価や相互評価を行い、改善を図ろうとしている。			○	
・知的財産権の概要について説明することができる。			○				
・知的財産権が産業や文化の発展に与えている影響について説明することができる。				○			
・著作者および伝達者の権利についての法律を挙げることができる。			○				
・目的を達成するために、著作物を法にしたがって適切に利用する方法を説明することができる。			○				
・個人またはグループで創作した著作物を他者が利用できるように条件を付けて公開することができる。			○				
・著作権の例外規定や著作物の利用条件にしたがって、著作物を適切に利用することができる。			○				
・個人情報およびプライバシーの概念を理解し、保護や管理の方法について説明することができる。			○				
・他人や自分の個人情報とプライバシーを適切に取り扱う際の注意点を挙げることができる。				○			
・個人情報の流出を防ぎ、適切に管理することができる。	○						
		・問題を解決するために、知的財産を適切に活用し、主体的に創作活動に参画しようとしている。			○		

1 学 期	第2章 情報デザイン 04 情報デザインの基礎 05 情報デザインの活用 ・社会の中で利用されている情報デザインについて理解する。 ・情報を正確に、わかりやすく伝える方法について理解する。	・社会の中の情報デザイン ・情報デザインの工夫	・情報バリアフリー、ユニバーサルデザインの意味と目的について説明することができる。 ・情報バリアフリーやユニバーサルデザインについて、身近な例を挙げることができる。 ・Webアクセシビリティ、ユーザビリティの意味について説明することができる。 ・Webアクセシビリティやユーザビリティを高めるために、ユーザインタフェースを改善することができる。 ・効果的なコミュニケーションや問題解決のために、主体的に情報を整理したり、わかりやすく伝達したり、操作性を高めたりする努力をしようとしている。 ・情報をわかりやすく伝達するための文字や図の表現の工夫、表やグラフ、配色の工夫など基本的な方法を理解している。 ・目的に沿って、情報を視覚化したり配色を考えて表現することができる。 ・情報伝達やコミュニケーションを促進するための情報デザインの工夫について、提案することができる。 ・情報をわかりやすく伝達するために、文字や図、表やグラフなどを工夫して表現する学習活動を自ら進んで行い、評価を受けて改善を図ろうとしている。	○			4
					○		
				○			
					○		
				○			
					○		
					○		
	第3章 デジタル 06 デジタル化された情報とその表し方 07 論理演算 ・アナログとデジタルの違いについて理解する。 ・2進数と情報量の関係について理解する。 ・コンピュータの演算の仕組みを理解する。 ・数値や文字をデジタル化する方法を理解する。 ・コンピュータでの数値の計算方法について理解する。 ・音声をデジタルで表現する方法について理解する。 ・静止画や動画をデジタルで表現する方法について理解する。 ・情報のデータ量を小さくする方法について理解する。	・アナログとデジタル ・2進数と情報量 ・演算の仕組み ・数値と文字の表現 ・数値の計算 ・音声の表現 ・静止画と動画の表現 ・情報のデータ量	・アナログとデジタルの概念とその違いを理解している。 ・データの圧縮の種類や仕組みを理解し、圧縮・解凍することができる。 ・アナログとデジタルを比較し、その特徴を適切に説明できる。 ・圧縮する情報の用途に応じて、適切な圧縮方法を選択できる。 ・情報のデジタル化について、より深く理解しようとしている。 ・2進数と情報量の関係について説明することができる。 ・情報量を適切な単位で表現したり、変換したりできる。 ・論理回路による演算の仕組みについて説明することができる。 ・コンピュータによる演算や数値計算の仕組みについて関心を示し、理解しようとしている。 ・2進数・10進数・16進数を相互に変換することができる。 ・数値・文字の情報をデジタル化するための原理を説明することができる。 ・2進数・10進数・16進数を用い、目的に応じて適切に情報量を表現できる。 ・数値・文字の情報を目的に応じて適切にデジタルで表現できる。 ・2進数の加算や減算をすることができる。 ・補数について説明することができる。 ・コンピュータでの数値計算の誤差について説明することができる。 ・データ量の計算について関心を持って取り組もうとしている。 ・音声の情報をデジタル化するための原理を説明することができる。 ・音声のデータ量を計算できる。 ・音声の情報を目的に応じて適切にデジタルで表現できる。 ・画像の情報をデジタル化するための原理を説明することができる。 ・静止画や動画等のデータ量を計算できる。 ・画像の情報を目的に応じて適切にデジタルで表現できる。 ・データ量から圧縮率を求めることができる。 ・圧縮率から圧縮効率を判断することができる。 ・数値・文字・音声・画像などのデジタル化された情報を、主体的かつ適切に取り扱おうとしている。	○	○		8
				○			
					○		
					○		
						○	
				○			
						○	
				○			
						○	
				○			
					○		
				○			
						○	
	08 メディアのデジタル化 ・メディアには種類があることを理解し、メディアの発達について知る。 ・メディアの特性について理解し、目的に応じたメディアを選択することができる。 ・コミュニケーションの形態には違いがあることを理解する。 ・インターネットを活用したコミュニケーションの特徴について理解する。	・メディアの発達 ・メディアの特性 ・コミュニケーションの形態 ・インターネットのコミュニケーション	・メディアの機能について説明することができる。 ・様々なメディアを分類することができる。 ・メディアの発達について説明することができる。 ・文字、図形、音声、静止画などの各表現メディア、情報メディア、伝達メディアの特性についてそれぞれ説明することができる。 ・伝達する情報に応じて適切に表現メディアや情報メディアを選択して表現することができる。 ・情報メディアや表現メディアを活用し、主体的に情報を発信することができる。 ・情報の信憑性や信頼性について吟味し、情報の真意を読み解くことができる。 ・メディアから収集する情報を批判的に思考し、主体的に読み解こうとする態度を身に付けている。 ・メディアを活用したり、メディアを用いてコミュニケーションを図ったりすることができる。 ・コミュニケーションの方法を発信者と受信者の人数、位置関係、同期性により分類することができる。 ・コミュニケーションの形態や特性を考え、コミュニケーションの目的に沿った方法を選択することができる。 ・電子メールSNSなど、インターネットを利用する各種メディアとその特性について説明することができる。 ・適切かつ効果的にコミュニケーションを図るために、情報メディアを適切に選択することができる。 ・自らのメディア活用について振り返り、より効果的な表現や情報伝達ができるように改善しようとしている。 ・コミュニケーションを図る活動を行い、自己評価や相互評価に基づいてコミュニケーションの技能を改善しようとしている。	○	○		6
				○			
					○		
				○			
					○		
						○	
				○			

1 学 期	09 コンピュータの構成と動作 10 コンピュータの性能 ・コンピュータの構成と動作の仕組みについて理解する。 ・ソフトウェアの種類とインターフェースについて理解する。	・コンピュータの構成と動作 ・ソフトウェアとインターフェース	・コンピュータの構成や計算の仕組みについて説明することができる。 ・コンピュータを構成する各装置の機能と相互の関係考え、適切に接続して動作させることができる。	○			4
			・コンピュータの計算の仕組みについて、順序立てて説明することができる。		○		
			・コンピュータを構成する装置とその性能について興味・関心を示し、自分で調べようとしている。		○		
			・ソフトウェアの種類とその働きを説明することができる。	○			
			・ハードウェア、OS、応用ソフトウェアの関係を説明することができる。	○			
			・インタフェースの意味や種類について、例を挙げて説明することができる。	○			
			・情報機器を相互に接続するために、適切なインタフェースを選択することができる。 ・コンピュータが計算する仕組みについて興味・関心を持ち、粘り強く理解しようとする。 ・スマートフォンなどの身近な情報機器について、性能の向上や発展的な活用の方法を考えようとしている。		○	○	
2 学 期	第4章 ネットワーク 11 インターネットの仕組み ・情報通信ネットワークの構成について理解する。 ・ネットワークを効率的に利用するための取り組みについて理解する。 ・Webページとメールの仕組みについて理解する。 ・ネットワークを通じてデータを効率よく転送する工夫について理解する。	・ネットワークの構成 ・情報通信の取り決め ・Webページとメールの仕組み ・転送速度とデータ圧縮	・通信方式の種類やその違いについて説明することができる。 ・LANを構成する機器について、それらの役割を説明することができる。 ・目的に沿って、LANを構成する情報機器の接続を適切に考えることができる。 ・実際に利用しているネットワークの構成について自ら調べ、問題を指摘してネットワークの改善につなげようとしている。	○			2
			・インターネット通信の階層構造、各プロトコルの働きについて説明することができる。 ・WebサーバのIPアドレスを調べることができる。	○			
			・IPアドレス、ドメイン名、ルーティングの基本的な仕組みや働きについて説明することができる。	○			
			・WWWや電子メールなど、インターネットのサービスの内容と基本的な仕組みを説明することができる。	○			
			・目的に応じて、適切にインターネットのサービスを選択して利用することができる。	○			
			・通信データの転送速度とファイルを圧縮する意義について理解している。	○			
			・コンピュータでファイルを圧縮することができる。	○			
			・ファイルのデータを効率的に圧縮して転送することができる。		○		
			・インターネットの仕組みやサービスに興味・関心を持ち、問題の解決に向けて、個人あるいはグループでネットワークの活用について検討しようとしている。			○	
	12 さまざまな情報システム 13 情報システムを支えるデータベース ・社会の中で利活用されている情報技術について理解する。 ・様々な情報技術について理解し、課題解決の方法をについて考える。	・社会の中の情報システム ・情報技術と課題解決	・社会の中の情報システムについて、興味や関心を持っている。 ・POSシステム、電子マネー、電子決済の仕組みを実例を挙げて説明することができる。 ・人工知能、IoT、仮想現実や拡張現実についてそれぞれ説明することができる。 ・IoTや人工知能などの情報技術を社会の問題解決に役立てる方法を提案することができる。	○		○	4
				○			
						○	
	14 安全のための対策と技術 ・脅威に対する様々な安全対策について理解する。 ・情報セキュリティを確保する方法と技術について理解する。 ・情報を安全に取り扱うための技術について理解する。	・脅威に対する安全対策 ・情報セキュリティの確保 ・安全のための情報技術	・情報セキュリティの3つの基本的な考え方について説明することができる。 ・適切なパスワードを作成し、設定することができる。 ・パスワードの設定と管理について考え、適切に判断して実行することができる。 ・コンピュータウイルスなど、マルウェアの種類や被害の実態について理解し、その対策方法について説明することができる。 ・マルウェアや不正アクセスなどの情報セキュリティの脅威に対する対策について適切に判断し、対処することができる。 ・不正アクセスなどサイバー犯罪の種類や内容、被害の実態、およびその対策方法について説明することができる。 ・マルウェアやサイバー犯罪の被害に遭わないように、リスクを軽減するための対策を継続して行おうとしている。	○	○		4
					○		
			・情報セキュリティポリシーの概要や意義について説明することができる。	○			
			・情報セキュリティの確保に向けて、目的に応じて、アクセス制御やフィルタリングなど適切な方法を選択することができる。		○		
			・情報セキュリティポリシーの必要性を感じている。			○	
			・メッセージの送受信、デジタル署名、電子認証などに応用されている暗号化の方式と仕組みについてそれぞれ説明することができる。	○			
			・暗号の利用など、情報セキュリティを維持するための技術に関心を持っている。			○	
			・暗号化などの理解のもと、安全に情報を送受信するための仕組みを実際に活用しようとしている。			○	
			・情報セキュリティを維持するための対策を自ら進んで行うとともに、自分で振り返るとともに、教員の助言や相互評価に基づいて改善を図ろうとしている。			○	

3 学 期	第5章 問題解決 15 データの収集と整理 ・データを収集したり、整理したりする方法について理解する。 16 データの扱いと処理 ・表計算ソフトの活用方法について理解する。 ・データを適切なグラフや図に表現する方法を理解する。 ・データ分析の手法について理解する。 ・データベースの種類とその仕組みについて理解する。	・データの収集と整理 ・データ分析と表計算 ・データの可視化 ・データ分析の手法 ・データベースとは	・データの種類と尺度水準について理解し、収集したデータを整理することができる。 ・表計算ソフトを用いて適切にデータの並べ替えや抽出などができる。 ・表計算ソフトで統計処理に用いる関数を活用してデータを処理することができる。 ・問題解決の目的や内容に適したデータを選択して収集する力がある。 ・問題解決の目的や内容に沿って、適切に尺度水準を用いてデータの整理を行うことができる。 ・問題の発見や解決のために、オープンデータの選択やサンプリングなど、データを主体的に収集しようとする。	○			
			・問題解決の目的や条件にしたがって、表計算ソフトの関数を適切に適用してデータ処理を行うことができる。		○		
			・グラフの種類や機能を理解し、表計算ソフトを用いてデータをグラフ化することができる。	○			
			・問題解決の目的に応じて、データをグラフ等で適切に可視化して表現する力がある。		○		
			・問題解決のため、表計算ソフト等を用いて収集した情報を処理したり、グラフで可視化したりすることに興味を持っている。			○	
			・クロス集計、相関係数を用いた分析、回帰分析を行うことができる。	○			
			・問題解決の目的に応じて、データ分析の手法を適切に選択し、分析結果を効果的に表現する力がある。		○		
			・問題解決のためのデータ分析を、試行錯誤しながら粘り強く行うことができる。			○	
			・データベースの意味と必要性を理解し、事例としてリレーショナルデータベースの機能について説明することができる。	○			
			・リレーショナルデータベースとNoSQLの特徴を考慮して、格納するデータの性質や量に応じて選択できる。		○		
			・問題解決のためのデータ活用に関する取り組みを、データ分析の方法や分析結果の妥当性について、自己評価や相互評価で振り返り、改善しようとしている。			○	
	17 モデル化とシミュレーション ・モデル化の意味について理解する。 ・モデル化の分類について理解する。 ・モデル化する手順と方法を理解し、様々なモデルを作成する。	・モデル化とシミュレーション ・モデルの分類 ・モデル化の手順 ・モデル化の手法 ・モデル化をする時の注意	・モデル化およびシミュレーションの意味について説明することができる。 ・モデル化およびシミュレーションが社会の問題解決でどのように利用されているかを例を挙げて説明することができる。 ・モデル化およびシミュレーションが、社会の問題解決に果たす役割について考え、事例を挙げて説明することができる。 ・現実の現象についてのモデル化に関心を持ち、自ら進んでモデル化を試みるなど、主体的に学習に取り組んでいる。 ・縮尺モデルなど表現形式による分類、動的モデルなど対象の特性による分類など、モデルを分類することができる。 ・実際に使われているモデルについて検討し、表現形式や対象の特性で適切に分類することができる。	○			
			・モデル化の基本的な手順について説明することができる。	○			
			・問題を整理したり、構造を明らかにしたりするために、図的モデルを作成することができる。	○			
			・動的に変化する現象のいくつかの事例について、図的モデルや数式モデルで表し、表計算ソフトウェアを用いて、グラフを作成することができる。	○			
			・問題解決の目的に応じて、モデルに適用する要素を省略したり変更したりする必要があり、それに伴ってモデル自体が変化することを理解している。	○			
			・モデル化の目的を明確にして適切にモデルの構造を決定し、モデルを数式などで表現することができる。		○		
			・現実の問題をモデル化するために、図的モデルや数式モデルを作成し、それらに基づいて表やグラフを作成することができる。		○		
			・作成したモデルに対し、目的を達成しているかの観点で自己評価、および相互評価を行ってモデルの改善に努めようとする。			○	

3 学 期	18さまざまなシミュレーション ・シミュレーションの意義について理解し、確率的モデルのシミュレーションを行う。 ・問題解決のためにシミュレーションを活用する。	・シミュレーションの実際 ・モンテカルロ法 ・モデル化とシミュレーションによる問題解決	・シミュレーションの意義や方法について説明することができる。 ・確率的モデルをコンピュータでシミュレーションする意義について説明することができる。 ・モンテカルロ法の意味を理解し、いくつかの事例でモンテカルロ法を用いてシミュレーションを行うことができる。 ・表計算ソフトの関数を適切に選択・活用して、確率的モデルのシミュレーションをいくつか実行することができる。 ・待ち行列を事例にモデル化とシミュレーションによる問題解決を行い、問題解決の方法を経験して理解している。 ・例題のシミュレーションの結果は、試行するたびにに変化することの意味を考え、確率的モデルと他のモデルとを比較・検討することができる。 ・モンテカルロ法や待ち行列など確定的モデルのシミュレーションの過程を表やグラフで表現することができる。 ・店舗の待ち行列など、具体的な事象のシミュレーションに関心を持ち、シミュレーションを用いた問題解決を意欲的に取り組む。 ・待ち行列を事例に、表計算ソフトで実施したシミュレーションを再計算したり、パラメータを変更して再度シミュレーションを行ったりするなど、試行錯誤してシミュレーションの結果を分析し、評価しようとしている。 ・店舗のレジの待ち行列のシミュレーションを繰り返し、レジの窓口数を検討するなど、シミュレーションの結果を用いて問題を解決しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○	 <
-------------	---	---	---	--	---